

## 私の仕事観

「経営者としてどうあるべきなのか」という私の仕事観は、「会社はどうかあるべきなのか」という企業観と重なりあっています。会社とは、顧客はもちろんのこと、共に働く仲間たち、各事業の利用者の皆さん、パートナー企業など関わる組織・関わる人々をより幸せに豊かにするために存在する。それ以外の存在意義はありえないと考えています。だからこそ、その経営者である私のすべての発想や行動の基点は「関わる人たちがすべてを幸せに豊かにするため」であらねばならないと思っています。そして、変化の激しい時代環境の下、この経営者としての存在意義を全うするためには、学び続け、自らを磨き続けなければならないと肝に銘じています。

# 主婦の「働くための課題」は多様。 きめ細かく応えることが先駆者の役目

## 最近思っていることあり

当社は、設立当初より、日本社会にとって労働の量と質を担保する最良の施策は主婦人材の活躍だと考え事業を推進してきました。その経験を通じて感じることは「主婦人材」とひとくりにできないということ。例えば、出産・子育てを控えているのか、一段落しているのか、社会人ファーストステージでどんな働き方が主流だったのかなど世代によって背景は違い、今働くことに関する課題も違います。それぞれの課題に丁寧に向き合いそれを解決するサービスを発信するのが私たちの役割です。



株式会社ビースタイル  
代表取締役社長 CEO

## 増村 一郎

### ますむら いちろう

1971年生まれ。東海大学卒業後、銀行に入行するも大学時代アルバイトで関わっていた人材派遣事業の社会的意義を実感し1997年テンプスタッフに転職。2002年、主婦人材のパートタイム派遣を提案する株式会社ビースタイルを設立、取締役副社長に就任。14年代表取締役就任。16年日本人材派遣協会理事就任。

### ●会社概要

2002年設立。設立当初より主婦という潜在的労働力の活用に取り組み「パートタイム派遣」という新たな枠組みを提案。先駆者として業界内外から常に注目される存在となる。主婦の採用に特化した日本最大級の求人メディアの運営やキャリア女性の育成・活躍の機会創出など、価値創出領域をさらに広げている。

## 未来に向かって

時代変化の中で刻々と変化していく社会課題を解決する存在であり続けるためには、当社自身が進化を続けなければなりません。具体的には、専門学校と連携し主婦人材のキャリアアタッチメントを支援する仕組みの構築など様々な取り組みを推進しています。こうした取り組みの基点にあるのは、顧客やサービスの利用者様などがどう考えているかということ。そうした声をリアルタイムで吸い上げる仕組みを作りサービスの向上に活かしていきたいと考えています。

# Top